

男性向け家事育児等啓発講座【仙台市】

総事業費	136 千円
交付金額	68 千円

地域の実情と課題

- ・女性の有業率が低く、M字カーブの谷が深い
- ・全国平均と比較して性別役割分担意識が強い
- ・女性管理職比率が10%台と低い傾向にある。
- ・男性の家事育児等を行う時間が女性と比較して低く、主体的に参画していくための後押しが必要

目的・目標

- ・講座参加者数
【目標】18人 【実績】21人

事業の特徴

男性の家事や育児等への参画に関する意識の変容及び企業として男性の家事や育児への参画を後押しする雰囲気醸成を狙った出前型の講座を実施

連携団体

仙台市経済担当部局、(公財)せんだい男女共同参画財団、子育て支援団体

事業の効果

出前講座とすることで、参加団体全体を巻き込むこととなり、講座参加男性の家事・育児等に関する意識の醸成だけでなく、女性や労務担当部門等への派生が期待でき、企業や団体全体で男性社員の家事・育児を支える雰囲気醸成が図られる。

今後の課題

講座実施先について、企業を含めた幅広い対象となるよう効果的な広報のやり方について検討を行っていく必要がある。

事業の概要

●男性向け家事育児等啓発講座

1 開催概要

学生に向けて、男性が家事や育児等に参加することの必要性や効果、男性自身が得られるメリット等について伝える講座を行った。

仙台市の子育てにおける現状を伝えたほか、家事・育児のNGワードに関する4コマ漫画のセリフを話し合っ完成させるワークを通じて、家事育児について自分事として考える機会を作り、自分が影響を与えられる範囲で何ができるか、将来当事者になった際にどのように行動するかを考える機会とした。

【1回目】 日 時:令和5年10月21日

参加者:14名

【2回目】 日 時:令和5年10月26日

参加者:7名

2 事業効果及び効果検証

・対象を企業だけでなく、NPO団体や学校にも広げることにより、学生等の若い代に対して、男性の家事・育児分担がなされていない現状や、今現在または将来当事者になった際にどのようにすればよいかを考えるきっかけとすることができ、アンケートでも意識の変容につながったという声が多く聞かれた。目標値を超える参加者人数での開催が実現できた。

企業・団体・学生のみならずへ

2022年10月からパパの産後育児制度がスタートしました。

従業員・職員のワーク・ライフ・バランスの実現には職場の理解や制度の整備、利用促進が不可欠です。現在取組まれている方だけでなく、これから就職する学生の皆さんにも知っていただきたい内容になっていますので、ぜひ講座を開催してませんか？

募集中!

パパカUP講座

～ワーク・ライフ・バランスのすすめ～

講座プログラム
※ご要望に合わせて講座を実施します。

- 講座などー45分～1時間程度
・出席者における子育て世代の現状
・専業主婦による課題「父親の家事・育児参加」
・企業取り組みと子育てパパの体験談
- グループワークー1回 45分～1時間程度
家事・育児のNGワード
・NGワード「自分ができること」
・社会にあったらいいなと思う仕組みや制度 など
・課題とグループワークを組み合わせて行います。
※例>1回1時間×3回 2時間×1回など

回数や時間をご相談ください。

◆参加者の声◆

こういう機会がないとなかなか自分から学びたい意識がわいてきました。

友人や家族に学んだことを伝えていきたいと思っています。

学んだ内容を妻と共有し自分たちの育児に役立てたいと思っています。

【お申込み・お問い合わせ】
特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク
仙台市青葉区宮分町3-8-17 日東ハイソック204 電話&FAX: 022-714-2088
e-mail: sefamily@nifty.com.ne.jp

※詳しくは
仙台市子育て支援施設(のびすくいき)の指定管理団体

主 催: 仙台市
受託者: 特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク